

平成 26 年 12 月 23 日

各 位

会 社 名 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
代 表 者 名 ファウンダー、会長兼 CEO 窪田 良
(コード番号：4589 東証マザーズ)
問 合 せ 先 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
日本事務所 ディレクター 須賀川 朋美
(TEL：03-5789-5872 (代表))
代 理 人 ベーカー&マッケンジー法律事務所 (外国法共同事業)
弁護士 高橋 謙 (TEL：03-6271-9900)

最高経営責任者 (CEO) の異動に関するお知らせ

シアトル市 (2014 年12月22日 (米国西海岸標準時間)) - 当社は、2014年12月22日 (米国西海岸標準時間) 開催の取締役会決議により、2015年 1 月 1 日よりブライアン・オカラガン氏を最高経営責任者 (CEO) に任命いたしました。

これまで当社のファウンダー、会長兼最高経営責任者 (CEO) を務めてまいりました窪田良氏は、ファウンダー兼会長となり、従前どおり代表権を有します。

記

1. 異動の理由

当社は、機動的な経営判断と、事業領域の拡大と企業価値の増加を推進することを目的としてオカラガン氏を最高経営責任者 (CEO) とすることを決定いたしました。

オカラガン氏は、当社の事業および財務戦略の立案および遂行を担うと共に、今後当社がグローバルな企業として成長すべく、経営陣の拡充を図ってまいります。

窪田氏は、当社の基盤技術である視覚サイクルモジュレーション技術の開発および戦略的方向性の策定を担っていくと共に、引き続き当社の日本における投資家および広報活動をサポートしてまいります。

2. 異動の内容および新任最高経営責任者（CEO）の略歴

氏名	新・役職名	旧・役職名
ブライアン・オカラガン (Brian O'Callaghan)	社長兼最高経営責任者（CEO） および暫定最高財務責任者 取締役	社長兼最高執行責任者（COO） および暫定最高財務責任者 取締役
窪田 良	ファウンダー兼会長 取締役	ファウンダー、会長兼最高経営 責任者（CEO） 取締役

新任最高経営責任者（CEO）の略歴

ブライアン・オカラガン氏は2014年9月から当社の社長兼最高執行責任者（COO）および暫定財務責任者を務めています。また、2013年9月から当社の取締役を務めています。

同氏は直近までサンディエゴを拠点とするバイオテクノロジー企業である Sonrgy Inc. の会長兼 CEO を務めていました。それ以前は、同氏は Sangart Inc. の社長兼 CEO および同社取締役会のメンバーを務めました。同氏はまた、NPS Pharmaceuticals, Inc. の最高商務責任者として重要な企業戦略イニシアチブを発揮し、また Covance Inc. ではゼネラルマネジャーを務め2つの中核事業領域の再編および再建を成功に導きました。Novartis Pharmaceuticals Corporation では、移植・免疫担当ないし感染症担当の北米ゼネラルマネジャーとしていくつかの有力製品の上市、インライセンス取引および2つの主要事業ユニットの拡大に尽力しました。同氏はスイスでバイオ製薬会社の BioPartners を共同設立し、ドイツの Merck Biopharmaceuticals でゼネラルマネジャーを務め、また Pfizer では英国でならびに Bayer ではアイルランドで様々な上級管理職を経験しました。同氏は英国のヘンリー・カレッジ・オブ・ビジネス・マネジメントで MBA およびコーク・インスティテュート・オブ・テクノロジー・アンド・マーケティング・インスティテュート・オブ・アイルランドでマーケティング・ディプロマを取得しています。同氏は現在 BIOCOM、Aquavit Biopharma および San Diego Century Club 等で複数の取締役ないし理事の役職に就いています。

3. 異動予定日

2015年1月1日（米国西海岸標準時間）

なお、本プレスリリースによる、現在実施されている地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性治療薬候補「エミクススタト塩酸塩」の臨床第2b/3相試験への影響はございません。

以上

アキュセラ・インク (Acucela Inc.) について

アキュセラ・インク（日本語サイト：www.acucela.jp）は、世界中で数百万人が罹患している視力を脅かす眼疾患の進行を遅らせることにより治療を目指す革新的な治療薬の探索および開発に取り組んでいる、臨床開発段階のバイオ製薬企業です。当社と大塚製薬株式会社は、現在、当社が独自に創製した視覚サイクルモジュレーションに基づく地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性の治療薬「エミクススタト塩酸塩」および高眼圧症または開放隅角緑内障に対する治療薬「OPA-6566」の共同開発を行っています。

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

また本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。